



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 39 / 2009 年 10 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第 39 号をお届けします。

今回は、11 月 AP 研のオーガナイズドセッション、アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(再開催第 12 回)開催、南京での AP 研開催についてのお知らせと 7 月の韓国研究者の AP 研参加報告です。

【1】11 月 AP 研のオーガナイズドセッション

AP 研では 9 月より、今後の研究で注目されるテーマや異分野との研究テーマを議論するオーガナイズドセッションを開催しております(<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>)。

11 月 26 日、27 日(東工大)は、AP 研と RCS 研の年に一度の併催研究会であり、MIMO やアダプティブアレー関連がテーマとなっております。今回は、この枠を越えて「局間連携および分散アンテナに関する諸技術」についてオーガナイズドセッションを企画しました。近年、MIMO-OFDM やマルチユーザ MIMO 技術により、限られた帯域で超高速伝送を実現することが可能となってきています。しかし、実際の通信システムでは、通信セルのゾーン端のユーザは、通信レートが著しく低下したり、周波数の広帯域化によりチャンネル数が不足したりすることから、他の通信セルからの干渉を受けることが問題となります。本セッションでは、これらの問題を解決するための技術として注目されている、局間連携技術(集中もしくは分散制御)や分散アレーアンテナに関する発表を行い、アンテナ、伝搬、システム紹介、信号処理、実験などの幅広い観点から議論します。6 件程度の発表が予定されております。奮ってご参加ください。

【2】アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(再開催第 12 回)開催案内

AP 研では、第二種研究会として、アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップを開催しています。本年 12 月に京都同志社大学にて、IEEE AP-S Kansai Chapter との共催により、多くの方々から再開催の声が高い第 36 回ワークショップ「無線 IC タグ用アンテナの基礎」の再開催を行います。このワークショップは、無線 IC タグ用アンテナをテーマとした初級コースとしての位置付けであり、無線 IC タグシステムおよびタグ用アンテナの開発者を対象とします。無線 IC タグ用アンテナを開発するにあたり必要な、設計・解析・測定技術の習得を目的とします。奮ってご参加下さい。

記

- ◆無線 IC タグ用アンテナの基礎(WS-36 の再開催)
- ◆講師：高橋応明(千葉大)
- ◆日時：2009 年 12 月 11 日(金) 9:30~17:00
- ◆会場：京都市上京区 同志社大学今出川キャンパス 寒梅館 B1F 地下 A 会議室
- ◆受講申込：申込期間 9 月 28 日(月)~11 月 13 日(金)。申し込みの詳細は以下の URL まで。

<http://www.ieee-jp.org/section/kansai/chapter/aps/>

- ◆問合先：アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ 再開催第 12 回実行委員会
総務幹事 岩井誠人（同志社大）E-mail: kc-ws@mail.doshisha.ac.jp TEL: 0774-65-6267

【3】南京での AP 研開催

2010 年 5 月期の AP 研究会を南京で開催します。日程と会場は以下の通りです。多くの方のご参加を期待しています。

- ◆日程：2010 年 5 月 13 日（木）－14 日（金）
- ◆会場：東南大学（Southeast University）
- ◆締切日等：発表申し込みは 3 月 10 日で、原稿の提出は 4 月 15 日前後です。原稿は英語のみとなります。
- ◆会場の紹介：中国南京市内にある東南大学は中国国家教育部直属の重点総合大学であり、100 年以上の歴史を有する有名大学です。大学では、State Key Laboratory of Millimeter Wave, National Mobile Communications Research Laboratory などの国家支援の重点研究室が設置されており、移動通信、マイクロ波・ミリ波の研究分野では、数多くの研究者が活躍しています。南京と上海の間は、高速列車で約 2 時間の距離です。

【4】7 月の韓国研究者の AP 研参加報告

7 月 8 日から 10 日まで小樽市民会館で開催された研究会に韓国研究者が参加されました。9 日に韓国－日本ジョイントセッションを行い、Hanyang 大学の Choi 先生が WCDMA システム用高アイソレーション室内リピータアンテナに関する特別講演をされました。韓国からの他の参加者は、Yonsei 大学の Yoon 先生、韓国海洋大学の Min 先生、Hongik 大学の Choo 先生、Gwangju 工業大学の Kim 先生で、それぞれの研究成果の発表をされました。

韓国研究者の AP 研参加だけでなく日本研究者の韓国学会への参加を毎年強い連携を保っています。今年も 9 月 25 日に開催される韓国学会へ伊藤委員長はじめ 4 名が参加予定です。

【5】AP 研副委員長の戯言

9 月の AP 研は八戸工業大学で開催されました。同大学は八戸市郊外の自然に恵まれた場所で広大な敷地があり、研究に適した環境でした。川又先生には、研究会でのマイクロギャップによる放電に関する興味深い発表のほかに、会場までのアクセスの周知や懇親会などで大変お世話になりました。また、関先生にはフラットパネルディスプレイについて特別講演をしていただきました。アンテナ・伝搬とは直接は関係しませんが、研究の進め方など極めて示唆に富むお話でした。八戸市は魚がおいしいことが大きな特長ですが、昭和 30 年代を再現する取り組みを行っていました。八戸市で食べたラーメンは、ラーメンとはこういう味だったなと懐かしさを感じました。

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 正源和義(NHK)

E-mail: ap_ac-chair@mail.ieice.org

AP-NET: AP 研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録は AP 研 HP にて

AP 研 HP: <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>

